

理念・構想

山梨大学の教員養成に対する理念・構想

「広い知識と深い専門性」に裏付けられ、さらに教師としての実践的力量、すなわち実践的教育力を地域（山梨県）の教育事情と現場体験に即して手厚く育成することが、本学の教員養成に対する理念である。それは、「地域社会・国際社会に貢献できる人材を養成する」という本学の理念・目標の一環として、まさに社会に実際に貢献する教育分野における有為の人材を送り出すものである。

生命環境学部の教員養成に対する理念・構想

生命工学科

本学科では、生命科学を基盤として、食料、環境、健康、エネルギーにかかわる広範な課題をバイオテクノロジーによって解決できる人材の養成を目的とする。人材育成の目標を達成するために、専門教育では生物資源として微生物、動植物を対象とし、新規生物資源を探索するとともに、それらの多様な構造と機能を生体物質化学、生化学、構造生物学、遺伝子工学等の立場から教育する。そして、エネルギー、環境保全、食料生産、健康増進、老化防止及び食の安全に関わる技術を創出するための教育研究を展開し、専門教育の深化を図っている。

本学科の教育理念のもと、理科全般の基礎的知識とスキルの上に、食料、環境、健康、エネルギーにかかわる広範な課題を主体的かつ合理的に解決できる実践的な能力を備えている人材を高等学校教員（理科）として養成する。そして、これらの識見を活力ある社会の継承者である生徒に教育・伝承する力を育成することを目的とする。

地域食物科学科

本学科では、共生科学と農学を融合し、持続的な食料生産、環境保全、健康長寿などを教育・研究目標とし、それらの成果の活用と人材育成によって地域産業社会並びに国際社会の発展に貢献することにある。このため、基礎的な農業・食料生産技術だけでなく、環境問題や共生科学などの包括的な科学も教授する。また、地域産業として、原料の生産、加工、流通機構などが確立し、付加価値の高い「農業モデル」となっている「ワイン産業」を学ぶことも可能であり、これらを通して、圃場での各種農業技術や食品加工技術を獲得し、かつ国際的な広い見識と技術力を獲得させることを目指す。

また、共生科学入門、生物資源論、生物資源実習、食物科学入門等の学部共通科目の履修によって、地球と人類と食料の関係についてグローバル・ローカルな両視点から学び、農作物栽培学、植物生理学、農作物病理学、食品製造学、食品保蔵学等のより具体的な専門発展科目によって教育の深化を図っている。

本学科の教育理念の下、高等学校教員（農業科）として養成する人材は、次のような資質を備えた人材である。すなわち、農業の各分野に関する基礎的な知識と技術を習得し、農業の社会的意義や役割を理解したうえで、農業に関する諸課題を主体的かつ合理的に解決し、農業の充実と社会との発展を図る創造的で実践的な能力を有する教員として、自身の識見を次世代を担う生徒に教育・伝承していく資質に優れた人材を養成する。

環境科学科

本学科は、本学部理念に則り、自然環境に恵まれた山梨の地の利を生かし、環境調和型の人間活動を基盤とした自然と社会の共生をめざした教育研究を展開する。専門教育では、自然科学的な素養を基礎とした物理、化学、生物、地学の各分野の視点からの環境評価と、それらを発展させた環境管理の知識と技能を涵養する。自然科学の基礎的な実験科目に加え、環境計測実習、環境調査実習ならびに環境アセスメント実習、環境マネジメント実習といった実験・実習科目群において、対象物としての自然環境に直接触れ、さらに環境を科学の言葉で記述し、環境と人間社会の関係を管理する技能を与える。

本学科の教育理念のもと、食料生産基盤としての自然環境についての十分な知識に裏付けられた環境評価・管理能力を有し、自然環境と調和した人間活動の在り方を考えていく力を持った高等学校理科教員として、未来を担う世代の教育を担当するに足る人材を養成する。

地域社会システム学科

本学科では、共生のあり方とそれにかかわる社会の諸制度について理解するとともに、新事業の展開、新商品の開発・生産・流通・販売という一連のプロセスに関する流通経済、企業経営、地域経済、地域行政等の社会科学を食物科学や食品工学などを融合した形で総合的に学ぶ。特に、農業ビジネス、食品ビジネス、環境ビジネスなど、発展が期待されるビジネス分野での事業創造のあり方についても教育・研究を行う。実態社会の諸課題を認識し解決するための方法論としては、社会科学における定性的な方法だけでなく数理的手法も重視し、個々の対象に対する数理的分析の方法と応用についても学ぶ。このような学習過程を通じて、諸現象を総合的且つ客観的に分析し代案を提示する能力を涵養する。

本学部の基本理念及び本学科の目的の下、本学科が養成を目指す高等学校教員（商業）は、次のような資質を兼ね備えた人材である。すなわち、持続可能な地域社会の繁栄の実現に貢献するために、商業の社会的役割や意義を正確に理解したうえで商業及びそれに関連する各分野に関する基礎的な知識に精通し、これら分野が抱える諸課題を総合的かつ客観的に分析し、常に地域社会との接点を意識しながら自身の識見を生徒に教育・伝承していく資質に優れた人材を養成する。